ダウンロードしたCSVファイルの開き方

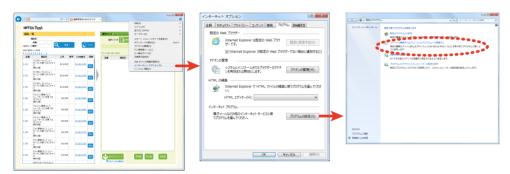
本システムからダウンロードできるCSVファイルの文字コードはUTF-8(BOM無し)です。 ExcelはShift-JISという文字コードでファイルを開こうとするため、Excelで直接開くと文字化けします。 文字化けの回避方法として、①Excel以外のソフトでファイルを開く場合、と②Excelでファイルを開く場合、 について説明します。

①Excel以外のソフトでファイルを開く場合

CSVファイルを常にExcel以外のソフトで開くようにブラウザの設定を変更します。

以下はInternet Explorer (ver.11) での設定方法です。ブラウザの違い (Firefox・Chrome等) やバージョンで操作が異なる場合があります。

1. [インターネットオプション]→[プログラム] タブ→[プログラムの設定] →[ファイルの種類またはプロトコルのプログラムへの関連付け] を選択します。



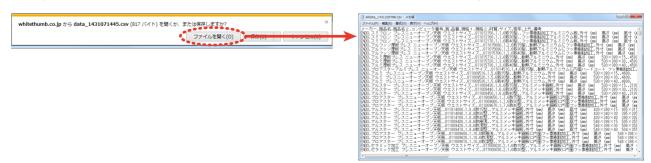
2.「.csv」を選択し、[プログラムの変更]をクリックします。



3. 使用したいエディタソフト (例:メモ帳)を選択し、[OK] をクリックします。



4. ダウンロード時、[ファイルを開く] でファイルを開くと文字化けせずに、ファイルを開けます。 (またはダウンロード後のデータをダブルクリックでファイルを開きます。)

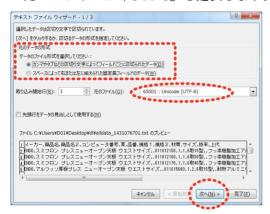


②Excelでファイルを開く場合

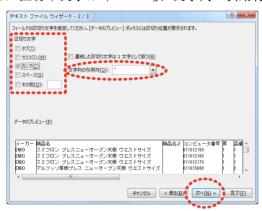
※[Excel用CSV]ボタンでダウンロードしたCSVは、そのまま開くことができます。

ダウンロード時に[ファイルを開く]から直接Excelで開くことはできませんが、一度ダウンロードすることで、Excelでもファイルを開くことができます。Excelのバージョンによって操作が異なる場合があります。

- 1. ダウンロードしたファイルの拡張子を.csv から.txt に変更します。
- 2. Excel を起動し、メニューバーの [ファイル]→[開く] から、拡張子を変更したファイルを指定します。
- 3. 元のデータの形式は「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ」、 元のファイルは「UTF-8」を選択します。[次へ]をクリックします。



4. 区切り文字は「カンマ」、文字列の引用符は「"」を選択します。[次へ] をクリックします。



5. コンピュータ番号の列のデータ形式を「文字列」に設定すると、頭の 0 を消さずに読み込めます。 また、規格 1・規格 2・材質・サイズ等の列のデータ形式を「文字列」に設定することで、Excel による自動変換がされずに読み込めます。

[完了] をクリックするとファイルが開きます。

